



WILD BIRD SOCIETY OF JAPAN・SAITAMA

しらこぼと

2019.11

No. 428

日本野鳥の会 埼玉

S H I R A K O B A T O



令和元年度 リーダー研修会を開催しました

普及部長 長野誠治

リーダー研修会は当会設立（当時は日本野鳥の会埼玉県支部）の昭和59年4月24日から1年後の昭和60年3月31日に第1回が開催され、その後毎年実施されています（※1）。

新たにリーダーになる方々に探鳥会の進め方や心構えを身に付けていただくこととともに、現役の役員・リーダーにも情報交換などを通じてブラッシュアップしていただく場を提供することを目的としています。

今回の第37回リーダー研修会は、9月1日（日）に北本市にある埼玉県自然観察公園で開催し、新リーダー右写真の中央3名（左：堀本、右：山部）を含む34名が参加しました。

9時30分に開会し、山部代表の挨拶に続いて新規リーダーの自己紹介の後、研修会担当の筆者からリーダーとしての心構えや基本的な注意事項を説明しました。毎回「日本野鳥の会とは」という点を強調しています。一般に野鳥の会に対して「紅白で数を数える」「鳥の数をカウントする」といった印象を根強く持たれているので、リーダーとして「野鳥の会は日本最大の環境保護団体である」「野鳥や自然の大切さを伝える」ことを再認識して、機会があるごとに幅広く伝えて欲しいと願っています。

座学後は10数人の3班に分かれて**模擬探鳥会**（下写真）を行いました。メインリーダー役には千葉幹事、藤澤リーダー、柏瀬リーダーにお願いしました。千葉さんは今年6月に役員に就任し、来年1月から蓮田市黒浜沼探鳥会のメインリーダーを務めます。またベテランの藤澤さんと柏瀬さんにはメインリーダー役を経験していただくことで、今後のリーダー活動に役立てていただけたらと思います。新リーダーは各班でサブリーダー

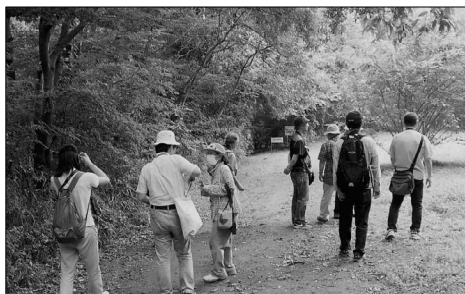


役を経験していただきました。出発前の参加者への注意事項の伝達に始まり、探鳥会中の交通や歩行者等への配慮、障害物やリスクの回避方法、野鳥が少なく観察機会が乏しい時の昆虫や植物の説明など、班ごとに工夫を凝らしていました。

昼食・休憩の後、13時から模擬探鳥会で気づいたこと（良かった点や改善すべき点）について班ごとにグループディスカッションを行いました。ベテランリーダーから今後実践に活かせる有益なアドバイスが数多く提供されました。

続いて**本部普及室の堀本理華さん**に「探鳥会におけるリスクマネジメント」をテーマに講演をしていただきました（右ページに講演要旨）。さらに石塚敬二郎幹事からビギナー向け探鳥会についての説明、事務局・総務部（海老原副代表）からの当会の歴史や概要などの説明、各部・各委員会の紹介があり、最後に山部代表から新リーダーに腕章の貸与があり、16時30分に無事終了しました。

17時から北本駅近くの中華料理店「十勝」で堀本さんを含む有志23名で懇親会を行いました。昼間の研修会とは異なる活発な意見交換があつて大いに盛り上がり、19時40分に藤掛元代表の締めでお開きとなりました。



「探鳥会におけるリスクマネジメント」

日本野鳥の会普及室 堀本理華

1. リスクマネジメントとは

- ①探鳥会で大切なことは「リスクマネジメント」、次に「鳥の知識・接客・解説技術」があってはじめて「探鳥会の成果」が得られる。
- ②「探鳥会のねらい」は健康増進、友人づくり、ストレス解消、自然への理解など。一方「探鳥会のリスク」はランナーや自転車との接触、転倒、危険生物、熱中症など。
- ③「守りのリスクマネジメント」とは、事故やケガが発生した後で必要となる救急法、事故対応マニュアルなど、必要ではあるが探鳥会の現場の安全向上には繋がらないもの。「攻めのリスクマネジメント」とは、事故やケガを未然に防ぐことを目的とし、危険予知と危険回避及びそのための準備等で、活動現場の安全性向上につながるもの。
- ④「探鳥会のねらい」と「リスク回避（安全管理）」を両立させるために「攻めのリスクマネジメント」を学ぶことが重要。

2. 指導者の法的責任

①「指導者の過失」とは、指導者が参加者に対する注意義務を怠ること。注意義務を怠ると法的責任を問われることもある。

- ②「注意義務」とは、危険を予知する義務と危険を回避する義務。これらの義務は、指導者が有給か無給かによる区別や差はない。



3. リスクマネジメントの手順

リスクマネジメントは、リスクの発見（危険予知）→リスクの評価（危険評価）→リスクの対処（危険回避）→フォローアップ（回避確認）の4段階に分かれる。

- ①リスクには「環境要因」「参加者要因」「指導者要因」があり、相互に連鎖する可能性を認識することが重要。
- ②リスクを「ダメージの大きさ」と「事故の可能性」の大小による2次元マトリックスで評価。
- ③「リスクの対処」には「完全排除」と「最小化」の方向性があり、後者に関して「セーフティトーク」によって参加者にもリスクマネジメントに参加してもらうことが有効。「セーフティトーク」のポイントは、「安全への意識づけ」と「ハザード（※2）情報の提供」。
- ④「セーフティトーク」には伝える内容だけでなく、「伝え方」も問われる。
- ⑤「セーフティトーク」が適切に行われていれば、法律的には過失相殺が適用されることがある。
- ⑥リスクに対処したら、引き続き観察し、変化したリスクや新たなリスクを発見し、評価、対処する。

【講演後の感想】 事故やケガは起こるとせっかくの探鳥会は台無しになってしまいます。今回の講演を聴いてリスクマネジメントの重要性を再認識しました。当会では無事故の探鳥会運営を確実にするため、リスクマネジメントの研修を充実させていく所存です。探鳥会に参加される会員の皆さまのご理解、ご協力を引き続きお願い申し上げます。（長野）

当会は100名以上の役員・リーダーを擁していますが、高齢化とともに毎年退任者が増えてきており、探鳥会を維持していくには新たなリーダーを育てることが不可欠です。会員の皆さまには探鳥会に積極的に参加していただき、「探鳥会はこんな風にやっているんだ」「これなら探鳥会の手伝いをしてもいいな」と感じたら担当メインリーダーに照会してみてください。そのうえでメインリーダー（役員）からの推薦、研修会参加、リーダー

登録という手順になりますので、よろしくお願いたします。

※1：昭和60年度及び平成21年度は各年度内に2回実施。

※2：ハザードとは、探鳥会のねらいにつながらないリスクで排除を目指すもの。セーフティトークとして提供するハザードの具体例としては、環境要因（安全な範囲、危険生物）、参加者要因（安全な方法、禁止事項、危険回避の方法）などがあげられる。

2009年から2018年までの秋のシギ・チドリ類調査結果

日本野鳥の会 埼玉 調査部

2019年秋のシギ・チドリ調査は、雨天のため中止となりました。長年続いていた調査ですが、天候には勝てませんでした。

調査は右の図（2002年7月第219号より）の4地区で行っています。そこで、10年間（2009年～2018年）の各地区の調査結果をまとめてみました。

総個体数は219羽で、A区が119羽と一番多く、一番少ないAs区は9羽でした。また、総種数は4種（タシギ属不明種は種数に入れない）で、タシギが145羽、ムナグロは49羽でした。総個体数の半分以上がタシギということが分かりました。

（石井 智）

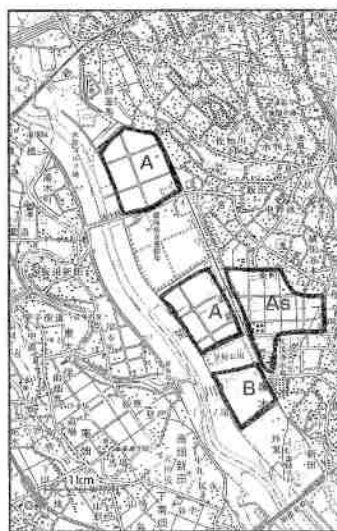


図1（H7修正）

各地区の結果

	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	総個体数
A区	16	1	4	0	6	2	1	57	11	21	119
As区	0	5	0	0	0	4	0	0	0	0	9
B区	1	5	3	0	23	16	7	0	8	1	64
A'区	0	0	0	0	0	22	0	0	5	0	27

A区の結果

	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	総個体数
ムナグロ	8						1	13	5		27
オグロシギ					1						1
タシギ	8	1	4		5	1		44	5	20	88
タシギ属不明種						1			1	1	3

As区の結果

	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	総個体数
ムナグロ		5									5
タシギ						3					3
タシギ属不明種						1					1

B区の結果

	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	総個体数
タシギ	1	4	3		16	16	1		5		46
オオジシギ									2		2
タシギ属不明種		1			7		6		1	1	16

A'区の結果

	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	総個体数
ムナグロ						17					17
タシギ						3			5		8
タシギ属不明種						2					2

※2013年の本調査（9/16）は台風のため中止したので、参考調査（9/23）の記録を載せました。



野鳥情報

上尾市平方領々家 ◇4月21日、キジ成鳥♂♀各1・雛3。カルガモ成鳥1・雛8、カワセミ2、アオサギ3、ハクセキレイ7、ヒヨドリ3、ムクドリ8、キジバト10、コジュケイ成鳥1・雛2、コチドリ5、ツバメ26、キビタキ、カワラヒワ12、オオヨシキリ。7月16日、オオヨシキリの数が増えた。ツバメ32、カルガモ12、カルガモの雛7確認。イワツバメ5、ここでは初めて見る。「コッコッコ」 という声も聞こえた。クイナだろうか (村越百合子)。

さいたま市西区 秋葉の森総合公園 ◇4月28日、エナガ8、ホオジロ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、メジロ、カワラヒワ5。竹林でキビタキ2、並んでとまっていた (村越百合子)。

上尾市堤崎 ◇5月8日、キビタキ、ガビチョウ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、シジュウカラ、ホオジロ、オナガ12、カワラヒワ6、キジ♀1・雛3、アオサギ、メジロ、オオヨシキリ (村越百合子)。

さいたま市西区 花の丘公園口 ◇5月15日、公園の外の樹林帯でサンコウチョウの声。探してみるも姿は確認できず (村越百合子)。

越生町 大高取山 ◇6月2日、キビタキの声があちこちから聞こえた。オオルリ、サンコウチョウ、エナガ、オナガ、ツバメ、ホオジロ、ヒヨドリ、コジュケイ、スズメ、ヒガラ、シジュウカラ、コゲラ、キジバト、ハシブトガラス、ハシボソガラス、ガビチョウ (村越百合子)。

上尾市大谷本郷 ◇6月3日、UDトラックス調整池でカルガモ成鳥1・雛8、コチドリ3、アオサギ、スズメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ (村越百合子)。

上尾市地頭方 ◇6月21日朝、犬の散歩中、鳥の声がとても賑やかだったので探してみるとビワの木にハシブトガラス6、ハシボソガラス6、オナガ18、ムクドリ12、スズメ7。ビワの実を食べていた。7月23日早朝、2階のベランダが賑やかなので目を覚

ます。少し障子を開けてみると物干しにシジュウカラの幼鳥3、母親におねだりしていた。少しして散歩へ出ると、メジロ3、コジュケイ2。ハクセキレイ、セグロセキレイ (村越百合子)。

北本市北本自然観察公園 ◇6月4日、初めてホトトギスの姿と声を確認できた。今年はおオヨシキリの声が多い。学習センター側の池で「キュルル キュルル」と鳴く声の主を探してみる。パンのペアが2組。1組は巣作り中、もう1組にはヒナが3羽。7月7日、パンの様子を見に行く。3羽の雛は少し大きくなっていた。もう1組のペアは雛が6羽確認できた。他にカイツブリ2も見ることができた (村越百合子)。

さいたま市西区指扇 ◇6月11日、田んぼでアオサギ3、ゴイサギ2、コサギ2、ダイサギ9、ツバメ16、ハシブトガラス6 (村越百合子)。

横瀬町武甲山 ◇6月17日、鳥居登山口～頂上でスズメ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、ミソサザイ、キビタキ、ツツドリ、カッコウ、ヒガラ、コガラ、シジュウカラ、カケス、エナガ。長者屋敷～浦山口 (秩父市) でコゲラ、カワラヒワ、アオバト、オオタカ、ウグイス、メジロ、ガビチョウ、オオルリ、ムクドリ、ホトトギス、ゴジュウカラ、ルリビタキ。溪谷付近ではアカシヨウビンの声 (村越百合子)。

上尾市平方 ◇6月18日、通勤途中、鳥の声が聞こえ、ふと自転車を止めると丸山公園側からエナガ24が飛んできた (村越百合子)。

さいたま市大宮区 さいたま新都心駅 ◇7月12日午後6時30分前、街路樹に次々と埒入りする約500のムクドリとスズメ50。埒の先にスピーカーをつけ、音でムクドリを散らそうとする係員の姿あり。ムクドリの中にコムクドリ1確認 (鈴木紀雄)。

表紙の写真

チドリ目カモメ科カモメ属ユリカモメ

見た目は優美なのに声はひどい、いないとさびしいのに集団はうるさい、そんな冬の風物詩です。

蟹瀬武男 (さいたま市)



行事案内



コガモ (編集部)

「要予約」と記載してあるもの以外、予約申し込みの必要はありません。集合時間に集合場所にお出かけください。初めての方は、青い腕章の担当者に「初めて参加します」と声をおかけください。参加者名簿に住所・氏名を記入、参加費を支払い、鳥のチェックリストを受け取ってください。鳥が見えたらリーダーたちが望遠鏡で見せてくれます。体調を整えてご参加ください。

参加費：中学生以下無料、会員 100 円、一般 200 円。

持ち物：健康保険証、筆記用具、雨具、飲み物。持っていれば、双眼鏡などの観察用具もご用意ください。なくても大丈夫です。

解散時刻：特に記載のない場合、正午から午後 1 時ごろ。

悪天候の場合は中止です。できるだけ電車バスなどの公共交通機関を使って、集合場所までお出かけください。間際に時刻表が変更される場合もあります。ご注意ください。

上尾市・丸山公園探鳥会

期日：11月2日(土)

集合：午前7時40分、丸山公園南口入口付近。

交通：JR 高崎線 上尾駅西口③番バス乗り場から **尾32** 西上尾第二団地經由リハビリセンター行 7:22 発で「丸山公園入口」下車、徒歩約4分。

担当：近藤、秋葉、浅見(徹)、柴田、千葉、永野、吉原(早)

見どころ：早朝の静かな公園で、到着したばかりの冬鳥をさがします。開始時間が早い分いいことがありますよ。昨年は、シメ・アオジ・ジョウビタキなど 32 種。今季初認の鳥は何？

帰りのバス：下車したバス停から 12:49 発。

松伏町・まつぶし緑の丘公園探鳥会

期日：11月3日(日・祝)

集合：午前9時、松伏町まつぶし緑の丘公園管理棟前。

交通：東武伊勢崎線 せんげん台駅東口、茨急バス③番乗り場から松伏町役場行き 8:48 発で「まつぶし緑の丘公園」下車。

担当：橋口、石川(光)、植平、佐藤(宏)、佐野、進士、長野、山部

見どころ：公園の池にカモ7種がそろっていることでしょうか。古利根川では、いつものイカルチドリ、コチドリ、イソシギが待っています。

さいたま市・大宮第二公園探鳥会

期日：11月4日(月・振休)

集合：午前8時30分、東武野田線 大宮公園駅前。または、午前9時、大宮第二公園管理事務所前。

交通：東武野田線 大宮 8:23 発、または春日部 8:06 発に乗車。駅に集合後、担当リーダーが第二公園管理事務所前までご案内します(徒歩約20分)。車の方は大宮第二公園駐車場が利用可能(午前8時開門)です。

共催：大宮第二公園管理事務所

担当：浅見(徹)、青木、浅見(健)、石塚(敬)、小林(み)、近藤、千葉

見どころ：カモなどの冬鳥を中心に、車の心配のない道で、のんびり探鳥します。大宮第二公園～芝川～大宮第三公園～大宮第二公園と巡り、昼前に大宮第二公園管理事務所前で鳥合わせ・解散の予定です。

羽生市・羽生水郷公園探鳥会

期日：11月7日(木) 平日

集合：午前9時、羽生水郷公園北駐車場。

交通：羽生市福祉バスの手子林・三田ヶ谷ルート(ムジナもん号)を利用。東武伊勢崎線 羽生駅東口 8:04 発→南羽生駅 8:21 発→「キャッセ羽生・水郷公園」下車。

共催：羽生水郷公園管理事務所

担当：相原(修)、相原(友)、新井、植平、竹山、飛田、中川、茂木

見どころ：繁殖羽に変わりつつあるヨシガモ、

渡ってきたオオジュリン、上空を舞う猛禽などを探しましょう。
注意：帰りのバスは14:50発です。

宮城県・蕪栗沼探鳥会（要予約）

期日：11月9日（土）～10日（日）
詳細は、10月号をご覧ください。

熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：11月10日（日）
集合：午前9時30分、秩父鉄道 大麻生駅前。
交通：秩父鉄道 熊谷9:01発、または寄居8:59発に乗車。

担当：茂木、新井、鶉飼、大畑、倉崎、田島、千島、飛田、中川、村上（政）
見どころ：どこからか聞こえるジョウビタキの声。渡来したばかりのツグミの群飛。いつもの林の小径はすっかり秋。木々の葉やカラスウリの実も色鮮やかに、皆さんのお出でをお待ちしています。

さいたま市・見沼自然公園探鳥会

期日：11月16日（土）
集合：午前9時、見沼自然公園駐車場南側のベンチ付近。

交通：JR大宮駅東口のバス乗り場⑦番（高島屋デパートの道を挟んだ向かい側）から国際興業バス「大81」さいたま東営業所行 8:23発に乗って「締切橋」で下車。締切橋バス停からリーダーがご案内します。

担当：大井、浅見（徹）、市原、柏瀬、河邊、工藤、小林（み）、野口、廣田、山田
見どころ：見沼自然公園と周辺の農耕地や染谷の屋敷林で身近な野鳥を探します。公園の池ではカモたち（去年は6種類）を近くで観察できます。ジョウビタキなどの冬鳥たちとの出会いにも期待したいです。コースの途中にはトイレもありますので、秋の散策もかねてご参加ください。

春日部市・内牧公園探鳥会

期日：11月16日（土）
集合：午前9時15分、アスレチック広場前・第一駐車場。
交通：東武春日部駅西口、朝日バス③番乗り

場から春日部エミナース行き 8:53 発で、「共栄大学入口」下車。西へ徒歩約7分。
担当：石川（敏）、青山（美）、佐藤（宏）、佐野、進士、長野、橋口

見どころ：雑木林、蓮池、田んぼ、屋敷林などを巡りながら、小鳥中心に探鳥します。冬鳥との再会の季節です。普段見られない鳥との遭遇があるかもしれません。途中、トイレ休憩あり。

帰りのバス：下車バス停の反対車線のバス停 発 12:27 のみ。その後は 16:04 です。（9月現在の時刻表による）。

『しらこぼと』袋づめの会

とき：11月16日（土）午後3時～4時ころ
会場：会事務局 108号室

さいたま市・三室地区定例探鳥会

期日：11月17日（日）
集合：午前9時、さいたま市立浦和博物館前。
交通：JR北浦和駅東口、正面信号を左側から渡り、50m先左手バスターミナルから 8:23 発東武バス「さいたま市立病院行」で終点下車。

後援：さいたま市立浦和博物館
担当：青木、浅見（健）、浅見（徹）、楠見、小菅、小林（み）、須崎、畠山
見どころ：いよいよ冬到来。鳥見は冬がよく見ることができます。これから3月までは冬鳥の季節です。三室地区は様々な鳥が見ることが出来、初心者（ビギナー）の方にも最適です。皆さまのお越しをお待ちしております。

嵐山町・菅谷館都幾川探鳥会

期日：11月17日（日）
集合：午前8時35分、東武東上線 武蔵嵐山駅西口。または午前9時15分、県立嵐山史跡の博物館駐車場。

※博物館駐車場は博物館利用者専用です。駐車する場合は「蝶の里公園駐車場」にしてください。

交通：東武東上線 川越 7:58 発、または寄居 8:02 発に乗車。
担当：新井、今村、鶉飼、千島、中村（豊）、

松下、持丸

見どころ：雑木林を歩きシメ、ツグミ、アオジ。河原でジョウビタキ、イカルチドリ、セキレイ3種、クサシギ。猛禽も飛ぶかも。

本庄市・坂東大橋探鳥会

期日：11月23日（土・祝）

集合：午前9時20分、坂東大橋南詰近くの「つきみ荘」北側。

交通：JR高崎線 本庄駅北口から国際十王バス9:06 発伊勢崎行きで「坂東橋南詰」下車。

担当：新井、鶉飼、小淵、倉崎、田島、千島
見どころ：カモはまだ勢揃いとはいきませんが、ここ数年カムリカイツブリが出迎えてくれます。昨年はカワアイサも。猛禽類、冬の小鳥達にも期待しましょう。

ご注意：石ころだらけで足場の悪い河原を歩きますので、足拵えはしっかりと。

志木市・柳瀬川探鳥会

期日：11月23日（土・祝）

集合：午前9時、東武東上線 柳瀬川駅西口、スーパーサミット前の円形広場。

担当：小林(み)、神場、佐久間、志村、鈴木(秀)、中村(治)、中村(祐)、藤澤、持丸、山口

見どころ：驚くほど自然度の高い柳瀬川で、水辺の鳥を観察。昨年はイカルチドリがたくさん見られました。

埼玉 Young 探鳥会 & バードスケッチ会 @東京港野鳥公園（要予約）

期日：11月23日（土・祝）

集合：午前9時、東京港野鳥公園管理事務所前。東京モノレール「流通センター駅」から徒歩15分。

解散：午後4時ころ、東京港野鳥公園内。

申し込み：野鳥の会埼玉HP 専用応募フォームから（10月中旬に掲載）。

担当：廣田、石塚(敬)、市原、大林、河邊、村上(将)

見どころ：野鳥画家の神戸宇孝氏を講師にバードスケッチ会の第2弾。写真撮影・観察だけでは気づけなかった「鳥の動き・形」を捉え、1種類の鳥をじっくり観察するおもしろさを味わいましょう。スケッチが初

めての方もこれを機に始めてみませんか。その他：詳細は10月中旬以降HPをご確認ください。昼食持参。入園料は各自負担。

蓮田市・黒浜沼探鳥会

期日：11月24日（日）

集合：午前9時、環境学習館前。

交通：JR 宇都宮線 蓮田駅東口から朝日バス8:50 発国立東埼玉病院行きで「新井団地」下車。バス停からご案内します。

蓮田市環境学習館の研修室を予約したので、学習館の駐車場が使用できます。車で来られる方は、環境学習館の駐車場または環境学習館北側の「緑のトラスト11号地」駐車場をご利用ください。

担当：小林(み)、青木、石井(健)、内田、田中、千葉、長嶋、長野、菱沼(一)、菱沼(洋)、廣田

見どころ：山から、北から、冬のお客様が集まってくる。アオジやツグミ、ジョウビタキ、カモの仲間。空を見上げることもお忘れなく。

狭山市・入間川定例探鳥会

期日：11月24日（日）

集合：午前9時、西武新宿線 狭山市駅西口。
交通：西武新宿線 本川越8:43 発、所沢8:38 発に乗車。

解散：正午ころ、稲荷山公園。

担当：長谷部、石光、佐藤(久)、島崎、鈴木(秀)、中村(祐)、藤掛、星、水谷、山口、山本(真)

見どころ：11月下旬、冬鳥たちがそろそろ頃。さて、今年はどんな鳥たちに会えるか、皆でしっかり探しましょう。

戸田市・彩湖探鳥会

期日：11月27日（水）平日

集合：午前9時30分 荒川彩湖公園駐車場（彩湖の北側）

交通：JR 武蔵野線南浦和8:47→西浦和8:53 西浦和駅から集合地まで担当が案内します。

担当：小林(み)、石塚(敬)、石塚(真)、今村、藤田
見どころ：埼玉県では、いちばん海に近い彩湖。意外な出会いが待っています。特にこの季節には期待が膨らみます。



4月20日(土) 栃木県 小倉山森林公園

参加: 37(会員33)名 天気: 晴

キジ キジバト カワウ アオサギ アマツバメ
トビ オオタカ ノスリ コゲラ アカゲラ ア
オゲラ モズ カケス ハシボソガラス ヤマガ
ラ ヒガラ シジュウカラ ツバメ イワツバメ
ヒヨドリ ウグイス エナガ センダイムシクイ
メジロ ムクドリ ツグミ コサメビタキ キビ
タキ オオルリ キセキレイ カワラヒワ ホオ
ジロ (32種) (番外: ガビチョウ) 去年は、緑が
予想より1週間早く茂ってしまいオオルリがな
かなか見つけられなかった。今年は1週間早く開催。
今度は1週間早かったようだ……。それでもオ
オルリは全員が堪能することが出来た。又、埼玉
ではなかなかお目にかかれないアオゲラをゆっ
くり見ることでもでき、それなりに満足できた。
来年は又開催を元に戻そうかな。(青木正俊)

5月5日(日、祝) 茨城県浮島湿原・千葉県小見川

参加: 28(会員28)名 天気: 晴

浮島湿原: キジ オカヨシガモ カルガモ キジ
バト カワウ アオサギ ダイサギ バン オオ
バン コチドリ タシギ チュウシャクシギ ツ
ルシギ アオアシシギ ミサゴ トビ チュウヒ
カワセミ モズ ハシボソガラス ヒバリ ツバ
メ ウグイス メジロ オオヨシキリ セッカ
ムクドリ スズメ ハクセキレイ セグロセキ
レイ ホオジロ コジュリン (32種) 小見川: オ
カヨシガモ マガモ カルガモ ハシビロガモ
コガモ カイツブリ キジバト カワウ サンカ
ノゴイ アオサギ ダイサギ チュウサギ ヒク
イナ バン オオバン タシギ チュウシャクシ
ギ ミサゴ トビ チュウヒ ハシボソガラス
ヒバリ ツバメ ウグイス オオセッカ オオヨ
シキリ セッカ ムクドリ スズメ ハクセキ
レイ ホオジロ コジュリン (32種) (番外: コブ
ハクチョウ) 予定通りに浮島に到着。近くのハ
ス田でシギを探す。お目当てのツルシギの夏羽を全
員でじっくり。しかし、他のシギ類が少なくて残

念! 昼食後、次の探鳥地の小見川大橋へ移動。利
根川の土手を下流へ鳥を見ながら移動。オオセッ
カやコジュリン等のヨシ原の鳥をじっくり見た。
戻りには、サンカノゴイやヒクイナの声が聞こえ
た。陽が傾いてきた頃、チュウシャクシギが目の
前の田んぼに降り始めた。数は80羽位と少なか
った。罅入りの場所が変わったのか。(入山 博)

5月19日(日) さいたま市 三室地区

参加: 41(会員31)名 天気: 晴

キジ カルガモ キジバト ダイサギ コチドリ
オオタカ カワセミ オナガ ハシボソガラス
ハシブトガラス シジュウカラ ヒバリ ツバメ
ヒヨドリ メジロ オオヨシキリ セッカ ムク
ドリ スズメ ハクセキレイ セグロセキレイ
カワラヒワ ホオジロ (23種) キジ、シジュウ
カラ、ヒバリ、ホオジロが、あちこちで自分をア
ピール。飛んでいるムクドリを見ると、何かくわ
えている個体が多い。孵化したヒナへの餌運びだ
ろう。繁殖期を迎えた三室はエネルギーがあふれ
ている。それに負けないうらい元気なのは、参加
してくれた子供たち! また来てね!(小林みどり)

5月25~26日(土~日) 長野県 戸隠高原

参加: 16(会員16)名 天気: 晴

オシドリ カルガモ カイツブリ キジバト カ
ワウ ホトトギス ツツドリ カッコウ ハチク
マ トビ ハイタカ オオタカ ノスリ コゲラ
オオアカゲラ アカゲラ アオゲラ サンショウ
クイ モズ カケス ハシボソガラス ハシブト
ガラス キクイタダキ コガラ ヤマガラ ヒガ
ラ シジュウカラ ツバメ ヒヨドリ ウグイス
ヤブサメ エナガ センダイムシクイ メジロ
ゴジュウカラ キバシリ ミソサザイ ムクドリ
クロツグミ アカハラ コルリ コサメビタキ
キビタキ ニュウナイスズメ スズメ キセキ
レイ ハクセキレイ カワラヒワ イカル ホオジ
ロ ノジコ アオジ クロジ (53種) 今年の戸
隠は暑さが心配、こんなことは初めて。それでも、
バスを降りると標高1200mだけあって、木陰は涼し
く感じられる。遠くから聞こえるキビタキやノジ
コの声。ミソサザイは間近で囀ってくれた。雲一
つない青空と戸隠山、そよ風で波立つ鏡池の絶景
をながめながらの昼食。隋神門の近くではクロジ
の囀り。2日目の早朝はお目当ての鳥たちを探す。

やっとコルリとクロツグミ。ミソサザイとオオアカゲラはすぐ近くで観察。朝食後もアカゲラ、ノジコと絶好調であったが、熊さんが近くに出現したとかで騒然とした場面もあった。(菱沼一充)

5月26日(日) 狭山市 入間川

参加: 30(会員25)名 天気: 晴

キジ カルガモ カイツブリ キジバト カワウ
アオサギ イカルチドリ コチドリ オオタカ
カワセミ コゲラ モズ オナガ ハシボソガラ
ス ハシブトガラス ヤマガラ シジュウカラ
ヒバリ ツバメ イワツバメ ヒヨドリ エナガ
メジロ オオヨシキリ ムクドリ スズメ ハク
セキレイ セグロセキレイ カワラヒワ ホオジ
ロ (30種) (番外: ドバト、ガビチョウ) 2~3
年ほど前からササゴイの活動場所が対岸の上流へ
移動してしまった。近くにいるのだがコースの中
に出てくれない。5月と7月はササゴイ対策でコ
ースをちょっと変更しようか。(長谷部謙二)

5月31日~6月1日(金~土) 東京都 三宅島

Young 参加: 16(会員13)名 天気: 晴

コジュケイ カラスバト キジバト オオミズナ
ギドリ ハシボソミズナギドリ アナドリ アオ
サギ ダイサギ ホトトギス アマツバメ ウミ
ネコ トビ コゲラ ハシブトガラス ヤマガラ
シジュウカラ ツバメ ヒヨドリ ウグイス イ
イジマムシクイ メジロ ウチヤマセンニュウ
ミソサザイ アカコッコ コマドリ イソヒヨド
リ スズメ カワラヒワ ホオジロ (29種) ヤ
ン探初の三宅島。到着後、まずは伊豆岬へ向かい
ウチヤマセンニュウ、カラスバトを観察。バスに
て大路池へ移動し、大路池周辺を散策。オースト
ンヤマガラ、イイジマムシクイ、シチトウメジロ
などが見られ、タネコマドリ、モスケミソサザイ
の声も聞こえる。アカコッコ館ではさっそくアカ
コッコを観察。施設スタッフの方に三宅島の鳥、
噴火の歴史などのレクチャーもいただいた。帰りの
航路では出航後すぐにコビレゴンドウの群れが
見られた。その後はアナドリ、ハシボソミズナギ
ドリなどの海鳥が見られた。(廣田純平)

6月2日(日) 北本市 石戸宿

参加: 57(会員50)名 天気: 曇

コジュケイ キジ カイツブリ キジバト アオ

サギ ホトトギス カワセミ コゲラ ハシボソ
ガラス ハシブトガラス シジュウカラ ツバメ
ヒヨドリ ウグイス メジロ オオヨシキリ ム
クドリ キビタキ スズメ ホオジロ (20種) (番
外: ガビチョウ) 鳥の巣があり、繁殖の妨げに
ならないよう配慮してのコース変更を参加者に伝
えた。ふれあい橋から、葦の先に止まって轉るオ
オヨシキリの姿を観察。珍しくコジュケイ2羽が
草刈り後の草地に出て来てくれたり、ホトトギス
やキビタキの声が聞こえたりと、気持ち良かった。
(追記) 巣からは、後日3羽が巣立ちました。皆
様のご協力の賜物と感謝致します。(吉原俊雄)

6月2日(日) さいたま市 民家園周辺

参加: 38(会員30)名 天気: 曇

コジュケイ キジ カルガモ カイツブリ キジ
バト カワウ ゴイサギ アオサギ オオバン
コアジサシ カワセミ コゲラ チョウゲンボウ
ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ
ヒバリ ツバメ ヒヨドリ ウグイス メジロ
オオヨシキリ セッカ ムクドリ スズメ ハク
セキレイ カワラヒワ ホオジロ (28種) (番外:
ドバト) 薄曇りの蒸し暑い1日。芝川沿いでス
ズメ・シジュウカラ・ホオジロを観察。コジュケ
イの声も聞こえた。調節池を覗くとオオヨシキ
リの鳴き声が響き、コアジサシ2羽が舞っていた。
アオサギとゴイサギの子育てを観察し、最後には
キジとチョウゲンボウが登場。鳥の数は少ないが、
この時季の鳥は観察できた。(須崎 聡)

6月5日(水) 羽生市 羽生水郷公園

参加: 37(会員28)名 天気: 曇

キジ カルガモ コガモ カイツブリ キジバト
カワウ ゴイサギ アオサギ ダイサギ トビ
カワセミ コゲラ モズ オナガ ハシボソガラ
ス ハシブトガラス シジュウカラ ヒバリ ツ
バメ ヒヨドリ オオヨシキリ セッカ ムクド
リ スズメ ハクセキレイ セグロセキレイ カ
ワラヒワ ホオジロ (28種) (番外: ドバト) ヨ
シ原の樹上でオオヨシキリが轉り、セッカの声も
あちこちから聞こえる。湖面近くではアオサギ幼
鳥やゴイサギ、コガモ♀が1羽残っていた。草地
では沢山のヒバリ、モズも多い。ホオジロ、シジ
ュウカラ、カワラヒワといった常連さんに見送ら
れ探鳥会を終わった。(相原修一)



●ワイルドバードカレンダー2020 発売

毎年ご好評をいただいているワイルドバードカレンダー、今年も全国から寄せられた 2,498 点の力作の中から 12 点を厳選した 2020 を販売します。



一般価格は税込み 1,540 円、会員価格は税込み 1,320 円。

売れ残りが出ないように数を抑えて仕入れられますので、探鳥会などで見かけましたら、早めにお求めください。

●11 月 15 日から狩猟期間です

埼玉県では、毎年 11 月 15 日から翌年 2 月 15 日までがマガモ、キジなど 28 種の鳥類と、タヌキ、アライグマなど 20 種の獣類の狩猟期間で、イノシシ、ニホンジカはわな猟に限り、一部の市町村で 3 月 15 日まで、猟期の延長が認められています。

銃による狩猟が可能な地域を埼玉県鳥獣保護区等位置図などでよく確認して、やむを得ず銃猟可能地区に近づく時は、発砲音の聞こえる範囲を避け、やぶなどに溶け込むような服装や行動をやめ、公道上での観察にとどめるなど、十分なご注意をお願いします。

●「見沼・さぎ山交流ひろば」担当者交代

長年担当していた小林みどり副代表から交代の申し出があり、浅見徹幹事が後を引き継ぐことになりました。

● ごめんなさいコーナー

前月号野鳥情報中、p6 左段「桶川市舎人新

田」の項、下から 3 行目「8 月 24 日・・」を、「6 月 24 日・・」に訂正し、下から 2～1 行目「罅入り」を削除します。

●会員数は

10 月 1 日現在 1,584 人です。

活動と予定

● 9 月の活動

9 月 14 日 (土) 10 月号校正 (海老原教子、海老原美夫、志村佐治、長嶋宏之)。

9 月 15 日 (日) 役員会 (司会：浅見徹、「みぬま秋フェス 2019 in さぎ山」出展について、全国総会参加者など)。

9 月 24 日 (火) 『野鳥』誌と同封発送しない会員向け『しらこぼと』10 月号を郵便局から発送し、pdf 化した 10 月号を本部総務室に送信して全国配布を依頼した (海老原美夫)。

●11 月の予定

11 月 2 日 (土) 編集部会、普及部会 (午後 4 時から)。

11 月 9 日 (土) 12 月号校正 (午後 4 時から)。

11 月 16 日 (土) 袋づめの会 (午後 3 時から)。

11 月 17 日 (日) 役員会 (午後 4 時から)。

編集後記

台風 15 号による負傷と思われるアカシヨウビンが、9 月 12 日に越谷市内で地域の方に保護され、市役所の手で回収・動物病院に入院。元気に餌を食べるほどに回復したが 20 日死亡。30 日、冷凍されていた死体を剥製にすべく引き取る。お世話になった方々にお見せした後は、年内に越谷市の公共施設に寄贈予定。(山部)

しらこぼと 2019 年 11 月号 (第 428 号) 定価 200 円 (会員の購読料は会費に含まれます)
発行人 日本野鳥の会埼玉代表 山部直喜 (〒330-0064 さいたま市浦和区岸町 4 丁目 26 番 8 号 プリムローズ岸町 107 号) TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460
郵便振替 00190-3-121130 URL http://www.wbsj-saitama.org 事務局 office@wbsj-saitama.org
編集部への原稿 yamazekuku@wbsj-saitama.org 編集部への野鳥情報 toridayori@wbsj-saitama.org
住所変更退会などの連絡先は 〒141-0031 品川区西五反田 3 丁目 9 番 23 号 丸和ビル
(公財)日本野鳥の会会員室 TEL03-5436-2630 FAX03-5436-2635 gyomu@wbsj.org
本誌掲載記事はホームページに転載される事があります。本誌またはホームページからの無断転載は、かたくお断りします。 印刷 関東図書株式会社